

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 キンダー・ラボ「かのん」

公表日

8年 3 月 13 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	適切である	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	法定の配置数の倍の7名配置し、手厚い支援体制を整えている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	建物構造上、児童の特性に対応した部屋の構造化は出来ている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	清掃の徹底や消毒の徹底による衛生管理は感染症対策マニュアル等に則して徹底して行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	余暇時間等は自由に使える環境になっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	全職員で業務改善を常に意識し、取り組んでいる	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	送迎の際やお迎えに来ていただいた際に保護者様血の状況の共有は密に行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	自己評価・保護者様からの評価等により、事業所の環境を鑑みながら、取り入れる範囲内で業務改善を行っている	・第三者委員会の設置はしていないため今後設置を検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部研修が少なくとも月1回の学習会、外部研修は委員会に関連するものや職員個々のスキルアップにつながる研修への参加を促進している	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	HPにてプログラムの公表を行ったり、要覧等で支援内容を広く周知しているところ	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	保護者様のニーズはもちろん、お子様の発達レベル・ストレングス等をフォーマルアセスメントやインフォーマルアセスメントにより把握しながら強みを引き出せる支援計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	常に勉強会を行いながら共通認識のもとに最善の利益を保証することを意識しながら検討を重ねているところ	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画に則た支援提供の後、共有と振り返りはその都度行いながら丁寧な支援を心掛けている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	医療等との連携によりWISCIV（全利用児童）や読み書きのアセスメントやWAVES（専門的支援）・アンガーマネジメント診断などのフォーマルアセスメントを行ったり、保護者様や該当教育（保育・医療機関）との情報の共有やお子様の観察とうによるインフォーマルアセスメントの両方を設定しながら発達に即したアセスメントを実施	

な 支 援 の 提 供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	設定されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員全体で立案にかかわっている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	各担当者が特性や年齢層を考慮しながら支援教材の提供を行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別支援計画に則り小集団であっても、個別の目標を意識しながら支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	打ち合わせは、毎朝行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	お子様の情報やその日一日あったことの共有は毎日行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	HUGでの支援記録をタイムリーに行い検証に役立てている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	計画の見直しはお子様の発達状況に即しながら随時行っているが、忙しいため法令で定められているところでの6ヶ月になることが多い	時間的な余裕をもって計画の見直しが出来れば良いと思う
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	相談との連携は随時行っており出席もしてもらっている
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	教育支援委員会への出席や地域自立支援協議会等における連携した支援体制を整えている	
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	並行利用等をお勧めしている	
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	市の教育審議会に出席している。	
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			外部研修等への参画等も含めて職員のスキルアップへの応援をしている	
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。			南相馬市・飯館村自立支援協議会会長・南相馬市子ども子育て審議会会長・として主体的に参画し運営している	
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	センターはこの地域にないため、地域自立支援協議会児童発達支援連携開等による児発管の横のつながりにて助言をお互いに行い合っている	・地域に児童発達支援センターがない
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	並行通園等の奨励により交流を図っている	
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	県委託事業ペアレントプログラムの事務局として開催しながら子育てに係る応援をしている		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に保護者様への丁寧な説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	設けている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	行っている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	子育ての悩みについては随時相談を受け付けており対応中	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	パパママ子育て応援講座にて茶話会の時間を設けている。また、親子でアンガーマネジメント等兄弟の参加も受け付けている。	・実施していない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	迅速かつ丁寧な対応を心掛けている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	HPやブログ等により発信中	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の取り扱いに関してのご同意を書面にて取り交わし、取り扱いには細心の注意を払っている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	地域行事等については土曜日の社会訓練等で参加	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルに即し、職員会議での学習会や実際に想定しながらの訓練等を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	災害発生時の訓練は、法人で組織する防災委員会の企画の下、年4回以上各事業所別に実施中	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	服薬等については処方箋を提出してもらい把握し対応・観察	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	食物アレルギーは医師の診断書による配慮を事業所内でも行っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	行われている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	周知済み	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットに関して日在ハット報告書を提出してもらいながら、全職員で再発防止に勤めるべく対策を練っているところ	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修会（圏域・法人内）等の研修を行い、アンガーマネジメント講座などを法人内で開催することにより虐待の未然防止に努めている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	多動による外出時の行動を止める行為など、身体拘束に関する同意書を保護者様と契約時に取り交わしている		